【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2007-293452(P2007-293452A)
【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-043
【出願番号】特願2006-118444(P2006-118444)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/21　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/048　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/21　　５３８Ｍ
Ｇ０６Ｆ　 3/048　　６５１Ｂ
Ｇ０６Ｆ　17/21　　５０１Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第２の文書が差し込まれた第１の文書の文書データを生成する文書生成装置であって、
前記第２の文書の差し込み位置を示す差し込み情報を含む、前記第１の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書の文書データに含めるデータを取得するためのクエリー情報と、を記憶する記憶手段と、
外部装置から前記クエリー情報に基づいてデータを取得する取得手段と、
前記取得手段により取得された前記データと、前記第１及び第２の文書のテンプレート情報と、に基づいて前記第１の文書の文書データを生成する生成手段と、を備え、
前記生成手段は、前記取得手段により取得された前記データを含む前記第２の文書の文書データが前記差し込み位置に差し込まれた前記第１の文書の文書データを生成する
ことを特徴とする文書生成装置。
【請求項２】
第２の文書の差し込み位置を示す差し込み情報を含む、第１の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書の文書データに含めるデータを取得するためのクエリー情報と、を記憶する記憶手段を備える文書作成装置における文書データの生成方法であって、
取得手段が、外部装置から前記クエリー情報に基づいてデータを取得する取得工程と、
生成手段が、前記取得工程において取得された前記データと、前記第１及び第２の文書のテンプレート情報と、に基づいて前記第１の文書の文書データを生成する生成工程と、を備え、
前記生成工程においては、前記取得工程において取得された前記データを含む前記第２の文書の文書データが前記差し込み位置に差し込まれた、前記第１の文書の文書データが生成される
ことを特徴とする文書生成装置における文書データの生成方法。
【請求項３】
第２の文書の差し込み位置を示す差し込み情報を含む、第１の文書のテンプレート情報

と、前記第２の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書の文書データに含めるデータを取得するためのクエリー情報と、を記憶する記憶手段を備えるコンピュータに、
外部装置から前記クエリー情報に基づいてデータを取得する取得手順と、
前記取得手順において取得された前記データと、前記第１及び第２の文書のテンプレート情報と、に基づいて前記第１の文書の文書データを生成する生成手順と、を実行させ、
前記生成手順においては、前記取得手順において取得された前記データを含む前記第２の文書の文書データが前記差し込み位置に差し込まれた、前記第１の文書の文書データが生成される
ことを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】文書生成装置、生成方法、及びプログラム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、文書生成装置、生成方法、及びプログラムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記目的を達成するため、本発明による文書生成装置は以下の構成を備える。即ち、
第２の文書が差し込まれた第１の文書の文書データを生成する文書生成装置であって、
前記第２の文書の差し込み位置を示す差し込み情報を含む、前記第１の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書の文書データに含めるデータを取得するためのクエリー情報と、を記憶する記憶手段と、
外部装置から前記クエリー情報に基づいてデータを取得する取得手段と、
前記取得手段により取得された前記データと、前記第１及び第２の文書のテンプレート情報と、に基づいて前記第１の文書の文書データを生成する生成手段と、を備え、
前記生成手段は、前記取得手段により取得された前記データを含む前記第２の文書の文書データが前記差し込み位置に差し込まれた前記第１の文書の文書データを生成する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、本発明による文書データの生成方法は以下の構成を備える。即ち、
第２の文書の差し込み位置を示す差し込み情報を含む、第１の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書のテンプレート情報と、前記第２の文書の文書データに含めるデータを取得するためのクエリー情報と、を記憶する記憶手段を備える文書作成装置における文書データの生成方法であって、
取得手段が、外部装置から前記クエリー情報に基づいてデータを取得する取得工程と、

生成手段が、前記取得工程において取得された前記データと、前記第１及び第２の文書のテンプレート情報と、に基づいて前記第１の文書の文書データを生成する生成工程と、を備え、

前記生成工程においては、前記取得工程において取得された前記データを含む前記第２の文書の文書データが前記差し込み位置に差し込まれた、前記第１の文書の文書データが生成される。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明によれば、データを取得するためのクエリー情報を伴う文書部品の差し込みを可能にすることで、文書部品の再利用性を高める技術を提供することができる。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
２０５０はレイアウト部であり、データマージ部２０３０によってマージされた文書を表示／印刷するためにレイアウト処理を行なう。２０６０は印刷制御部であり、生成された文書を印刷部１０６０によって印刷する。２０７０はレンダリング部であり、レイアウト部２０５０によってレイアウトされた文書を表示制御部２０４０または印刷制御部２０６０によって表示／印刷するのに適した形式に変換する。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６２】
なお、ステップＳ１００３０において、データを検索するのはスタックポインタ９０３０の指しているスタックエントリ９０２０のみを使用するように処理していた。これに対して、include_component文を処理する場合は、スタックポインタ９０３０の指しているスタックエントリ９０２０以下の全てのスタックエントリ９０２０を対象にデータを検索するようにする。これにより、親文書においても対応するデータを適切に検索して出力することができる。